

平成27年度

清水町議会総務文教常任委員会所管事務調査



幼保・小交流 「たからものランド」

平成28年2月10日（水）

清水町立清水小学校

平成27年度

清水小学校の教育

教育目標

心身ともに健康で 未来に生きる高い知性と 豊かな心情と強い意志を培い
主体的に行動できる子どもを育てる

〇進んで学ぶ子ども 〇楽しい心をもつ子ども 〇機わりまでやりぬく子ども 〇体をきたえる子ども 〇みんなと力を合わせる子ども

豊かな教育環境のもと、子ども一人一人が笑顔で生き生きと活動し、輝き続ける教育を推進します

家庭・保護者

安らぎの場：信頼・協働

学校・教職員

学びの場：自立・協調

地域・住民

育ちの場：つながり・支援

笑顔輝く 日本一の学校 笑顔で登校 笑顔で下校

しっかり学ぶ [聡明] <知>

- 〇基礎基本の確実な定着（習得・活用・探究）～個に応じた指導、繰り返し指導・発展的指導、体験的・問題解決的学習、放課後・長期休業の指導、言語活動
- 〇家庭学習や読書の習慣化～清水小スタンダード（学習方針、学びのルール、立腰等）、朝読・家読、読書の木
- 〇地域の特性を生かした教育の充実～教材化
地域の教育資源の活用、総合学習
- 〇PDCAサイクルの徹底～学力テスト、CRT、チャレンジテストの分析・改善方策
- 〇学校公開～授業研、参観日、学校行事等

みんな笑顔 [明德] <徳>

- 〇明るく、元気な挨拶・返事～規範意識や倫理観、正しい言葉遣い、豊かな表情、美しいしぐさ
- 〇道徳教育の推進～児童理解交流、道徳の授業（参観日）、アンケート、命の授業、奉仕・体験活動（ボランティア、直接体験）
- 〇安全指導の徹底～自分の命は自分で守る（安全教室等）、いじめ防止（QU、カブリング）

しみず
「教育の四季」
= 家庭・地域
との連携

すこやかな体 [活力] <体>

- 〇基本的な生活習慣の定着～早寝・早起き・朝ご飯、歯磨き
- 〇身の周りの整理・整頓、掃除力の育成～後片づけ・掃除、自立、心技体を磨く
- 〇食育の充実～しっかり食事、感謝の心、
- 〇健康・体力づくり～遊びや運動・スポーツ（スケート、スキー）、体力テスト

『環境こそ指導力である』（豊かな環境）

- 〇ひと（教師、保護者、ボランティア）
- 〇もの（地域素材・環境、教材、施設・設備等）
- 〇財源（運営費、設備費、教材費等）
- 〇情報（教育・地域社会・危機管理等）
- 〇つながり（関係機関・団体、人材、協働体制）

説明責任 幼・保・小・中・高の連携 特別支援教育やキャリア教育の推進

平成27年度

清水小学校の教育 笑顔輝く 日本一の学校

笑顔で登校 笑顔で下校

① しっかり学ぶ [聡明] <知>



理科実験の授業



楽しく外国語活動



丁寧な習字の指導



総合：農園活動



コツコツ朝学習



授業に集中

『環境こそ指導力である』豊かな環境

○ひと（教師、保護者、ボランティア）○もの（地域素材・環境、教材、施設・設備等）○財源（運営費、設備費、教材費等）○情報（教育・地域社会・危機管理等）○つながり（関係機関・団体、人材、協働体制）

深まる
紅葉
清水小の
風景



② みんな笑顔 [明德] <徳>



児童会の挨拶運動



参観日：道徳の授業



全校ゴミ拾い登校



社会科見学

しみず
「教育の四季」
= 家庭・地域
との連携



農業体験で枝豆収穫



元気に外遊び

③ すこやかな体 [活力] <体>



清掃活動



食育：大豆料理



平成27年度

10分間の朝学習



清水小学校の教育

笑顔輝く 日本一の学校

笑顔で登校 笑顔で下校

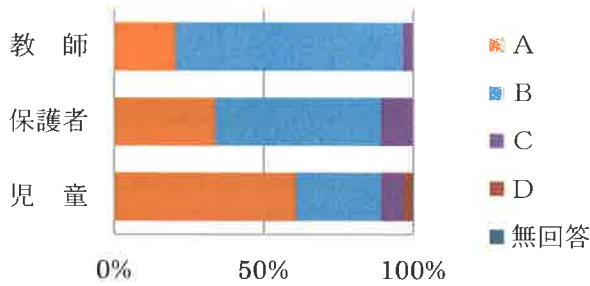
授業での学び合い



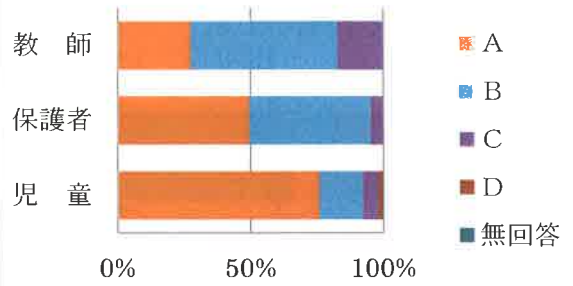
しっかり学ぶ [聡明] <知>

A : よくできている B : 大体できている C : あまりできていない D : ほとんどできていない

A 分かる楽しい授業づくりに努めている。



B 家庭学習の習慣化に努めている。



〔○成果と△課題〕

○日常の教材研究や研修を通して、授業の工夫や個に応じた指導などにより、分かる楽しい授業を展開することができた。

△進んでいる子や苦手な子に応じた手立てを十分に取ることができていない。

△家庭学習が十分に定着していない。

〈具体的な手立て〉

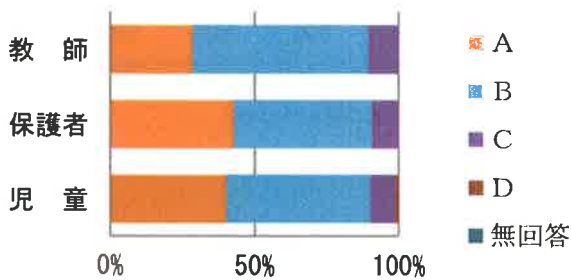
- ◇個に応じた指導の工夫に努める。
- ◇一層の研修の充実を図り、授業力や指導力の向上に努める。
- ◇家庭学習や自学の取組等の工夫改善に努める。

児童会「挨拶運動」

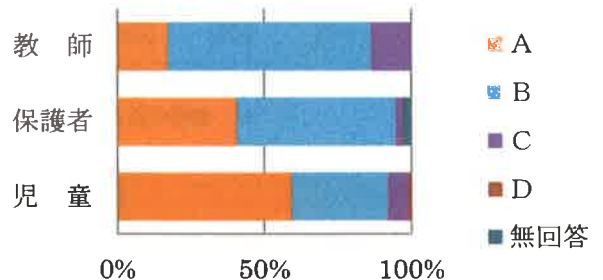


みんな笑顔 [明德] <徳>

C 「あいさつ・返事・後片付け」の定着に努めている。



D 思いやりや感謝の心をはぐくむ教育の充実に努めている。



〔○成果と△課題〕

- 誰に対しても挨拶することができるようになってきている。
- 子どもに思いやりの心や感謝する気持ちが育まれてきている。
- △時と場合に応じて挨拶ができない。
- △後片付けする力が十分に身に付いていない。

〈具体的な手立て〉

- ◇「挨拶・返事・後片付け」の大切さを繰り返し指導して意識を高め、日常化に努める。
- ◇正しい言動が取れるよう日常の指導を徹底する。

生
年
の
長
児
と
5
年
交
流

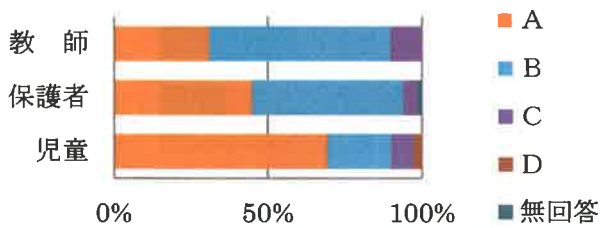


ゴミ拾い登校

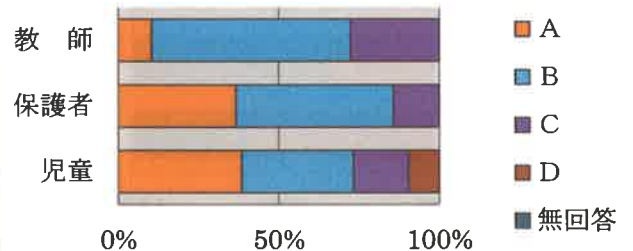
元気に外遊び

すこやかな体〔活力〕〈体〉

E 歩いて登下校することを推奨するなど子どもの体力づくりに努めている。



F 早寝・早起き・朝ご飯等の望ましい基本的生活習慣の推進に努めている。



〔○成果と△課題〕

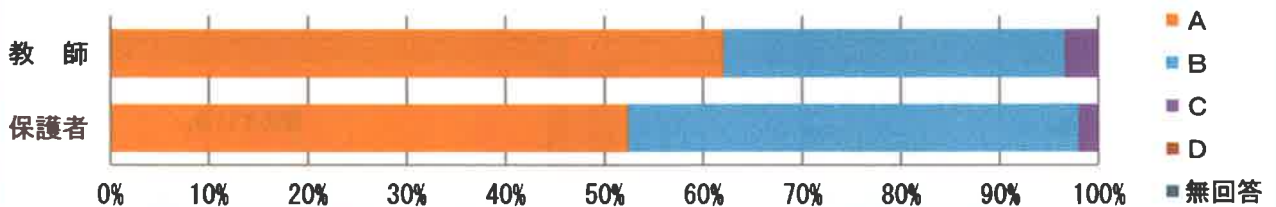
- 体力づくりや基本的な生活習慣が定着しつつある。
- △個人差や家庭による差が大きい。(二極化の傾向にある)

〈具体的な手立て〉

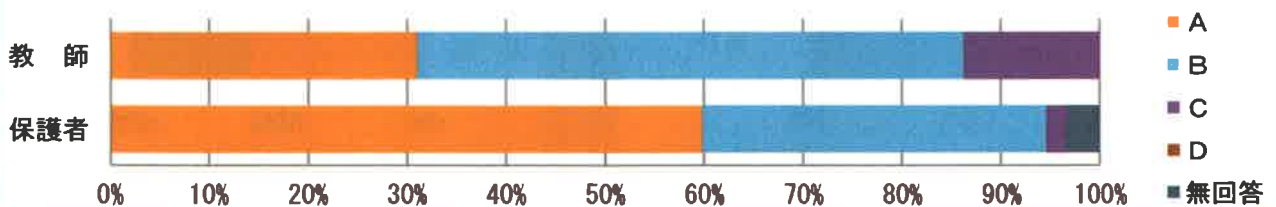
- ◇体力づくりのため、学校では運動プログラムを取り入れた授業づくりの工夫、家庭には徒歩での登下校や手伝い等に取り組むよう啓発する。
- ◇生活リズムが整うよう保護者との連携を図る。

豊かな学びの環境づくり

G 各種便りや懇談会等を通して、学校の方針や教育活動を家庭や地域に分かりやすく発信している。



H 幼保中高との連携を通して、滑らかな学びの接続に取り組んでいる。



平成27年度 清水小学校の学校経営

1 学校経営の基本的な考え5

- ① 学校は子どもたちのためにある。常に子どものために何をすべきか、どうしたらよいかを考え実践する。
- ② 学校は公的な機関である。教職員は、常識や良識のある言動に心がける。
- ③ 学校は地域の教育・文化の拠点である。ゆえに、地域住民が集う場としての役割を果たす。
- ④ 教職員は専門職(プロ)としての自覚と使命感のもと、子どもたちの育ち(夢と希望、ふるさとに誇りをもつ子どもの育成＝子どもの成長と生き方)に関わり、責任をもつ。
- ⑤ 教職員は常に真摯な姿勢で職務に専念し、自らの資質や能力の向上をめざす。

以上の考えのもと、「子どもたちが行って学びたい学校」「保護者が我が子を通わせたい学校」「地域住民が参観・支援したい学校」の実現をめざして、全教職員の協働体制＝「チーム清水小」で「清水小学校だからできる教育」を推進・充実させる。

2 学校経営の理念

『豊かな教育環境のもと、子ども一人一人が笑顔で生き生きと活動し、輝き続ける教育を推進します』

子どもは「地域の宝」である。子ども一人一人は、多種多様な資質や能力、可能性を秘めている。子どもの特性に気づき、引き出し、的確に伸ばしていくことが学校の責務である。そのためには、「豊かな教育環境」が必要不可欠な要件である。

[豊かな環境]とは・・・

- ①ひ と ……情熱と愛情にあふれ、プロ意識と使命感のある教師、信頼と愛情のある保護者、心温かな学校支援ボランティア
- ②も の ……整備された施設・設備、地域素材、充実した教材・教具等
- ③財 源 ……必要な運営費、設備費、教材費等
- ④情 報 ……教育や地域社会、危機管理に関する情報
- ⑤つながり ……関係機関や団体、地域人等との連携や支援、協力体制

私達は、「教育の四季」(清水町の教育)を基調とし、学校(教職員)と家庭(保護者)、地域(地域住民)が密に連携し、同じ歩調で協働して教育活動を推進していくことが大切である。

そのためには、教職員一人一人が広い視野と温かさ・厳しさをもって子どもと真正面から向き合い、真摯な姿勢で研鑽に励むとともに、積極的に学校の情報を公開・発信することによって、保護者や地域住民から厚い信頼と心強い支援をいただけるよう「開かれた学校」を創造していくことが重要である。 【人が環境を創り、環境が人を創る】

3 学校の教育のめざす姿

学校の教育目標は、本校の教育活動の指針である。そして、本校で学ぶ子ども達が、将来、平和で民主的・文化的・国際的な国家の形成者として成長することを願って、「日本国憲法」「教育基本法」「北海道教育のめざす姿」「十勝教育のめざす姿」の教育理念、「清水町教育目標」等を基調に、教職員・保護者・地域住民の共通理解によって本校の教育目標が設置されたものである。その実現に向けて本校の教育がめざす姿(「めざす学校像」「めざす教師像」「めざす子ども像」)の育成に取り組む。

(1)めざす学校像

- ① 子どもたちにとって→ 行くのが楽しみで、確かな学びの力を育ててくれる学校
 - ・ わかる、楽しい授業が行われ、自信ややる気を高めてくれる学校
 - ・ 互いに相手を思いやりながら仲良く過ごし、いじめや差別のない学校
 - ・ きまりが守られ、目的に向かってみんなががんばっている学校
 - ・ 自分の思いや願いの実現のために行動することを応援してくれる学校
- ② 保護者・地域住民にとって→ 安心・信頼をもち、子どもを通わせたい学校
 - ・ 子どもの「学び」と「安全」が保証されている学校
 - ・ 情報の発信や説明責任・結果責任を果たし、内外に開かれている学校
 - ・ だれもが気軽に訪れ、地域の教育力が積極的に生かされている学校
- ③ 教職員にとって→ 各自の特性を發揮し、学校経営に全教職員参画する学校
 - ・ 個々のもつ能力や持ち味を存分に發揮できる学校
 - ・ プロ教師としての力量を高めるために日々研鑽し専門性を磨き合い、高め合える学校
 - ・ 教育公務員としてのモラルが遵守されている学校

(2)めざす教師像

- ① 「知・徳・体」のバランスのとれた子どもを育む教師
- ② 子どもの心を把握し、子どもともに学び、活動する教師
- ③ 自ら研修に励み、「わかる、楽しい授業づくり」を実践する教師
- ④ 職務に責任と使命感、誇りと覚悟をもち、真摯な姿勢で取り組む教師
- ⑤ 豊かな環境づくりに取り組む教師
- ⑥ 保護者や地域住民と協働して子どもを育む教師

(3)めざす子ども像

- 進んで学ぶ子ども 〈知〉
 - ・ すてきな笑顔 ・キラキラ輝く瞳 ・真剣な姿勢 ・豊かな表現力
- 美しい心をもつ子ども 〈情〉
 - ・ 素直な心 ・明るさ ・正しい言葉遣い ・優しさや思いやり ・美しいしぐさ
- おわりまでやりぬく子ども 〈意〉
 - ・ 身の回りの整理整頓 ・行動力 ・忍耐力 ・責任感
- 体をきたえる子ども 〈健〉
 - ・ 体力づくり ・健康・安全意識 ・基本的な生活習慣
- みんなと力を合わせる子ども 〈社〉
 - ・ 礼儀正しさ ・協力 ・きまりを守る

【教師の姿勢と子どもとの関わりのねらい】

| | |
|-------------|-------------------------|
| ○ 子どもを知る | つぶやき 表情 コミュニケーション 文章や作品 |
| ○ 子どもと遊ぶ | 興味・関心 親近感(距離) 子どもの目線 |
| ○ 子どもを好きになる | 笑顔 信頼関係 プラス思考 |
| ○ 子どもを認める | 誉めて伸ばす 小さな成長を見取る 可能性の伸張 |
| ○ 子どもと共に育つ | 発言・発表を生かす 共に学ぶ姿勢 行動化の工夫 |

4 経営方針

笑顔輝く 日本一の学校

～生き生きと活動する子どもの笑顔が輝き、

優しさと思いやりの花が咲く学校をめざして～

*子どもたちの生き生きと活動する姿や声が響き、

笑顔がいっぱい、優しさと思いやりがあふれる日本一の学校！

〔笑顔の要素・・・頭（聡明）、心（明德）、身体（活力）、環境（整備）〕

(1) しっかり学ぶ〔聡明〕＜知＞

- ①基礎基本を確実に定着させます～個に応じた指導、繰り返し指導・発展的学習、体験的・問題解決的な学習、放課後・長期休業の指導、言語活動
- ②家庭学習や読書の習慣化を図ります～清水小スタンダード(学習常規、学習のルール、立腰等)、朝読・家読、読書の木
- ③地域の特性を生かした教育を充実させます～教材化、地域の教育資源の活用、総合学習
- ④PDCAサイクルを徹底させます～学力テスト、CRT、チャレンジテストの分析・改善方策
- ⑤学校を公開します～授業研、参観日、学校行事等

(2) みんな笑顔〔明德〕＜徳＞

- ①明るく、元気な挨拶・返事を身につかせます～規範意識や倫理観、正しい言葉遣い、豊かな表情、美しいしぐさ
- ②道徳教育を推進します～生徒指導交流、道徳の授業(参観日)、アンケート、命の授業奉仕・体験活動(ボランティア・直接体験)
- ③安全指導を徹底します～自分の命は自分で守る(安全教室等)、いじめ防止(QU、カウンセリング)

(3) すこやかな体〔活力〕＜体＞

- ①基本的な生活習慣の定着を図ります～「早寝・早起き・朝ご飯」、歯磨き
- ②身の周りの整理・整頓、掃除力を育みます～後片付け・清掃、自立、心技体を磨く
- ③食育を充実させます～しっかり食事、感謝の心
- ④健康・体力づくりを推進します～遊びや運動・スポーツ(スケートやスキー)、体力テスト

保 護 者 各 位

清水町立清水小学校長 山 下 勇

平成27年度学校評価の結果について

余寒の候、皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃から、本校の教育活動に対しまして、特段のご理解とご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

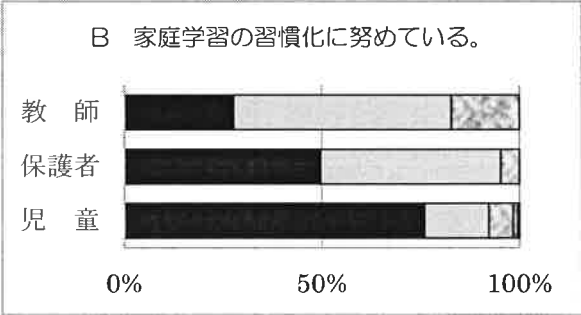
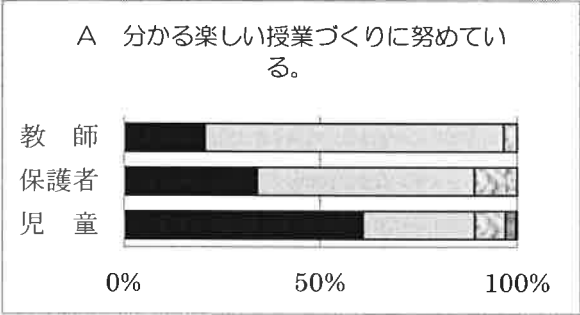
さて、12月に実施いたしました学校評価（職員による自己評価、保護者アンケート、児童アンケート）の結果がまとまりましたのでご報告いたします。

学校では、この結果を受け、教育活動の一層の改善・充実に努めてまいりますので、今後とも皆様のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

| | |
|--------------|-------------------|
| ◆保護者アンケート実施日 | 平成27年12月1日～12月11日 |
| ◇児童アンケート実施日 | 平成27年12月1日～12月11日 |

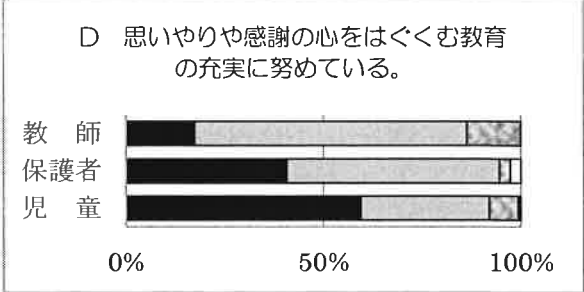
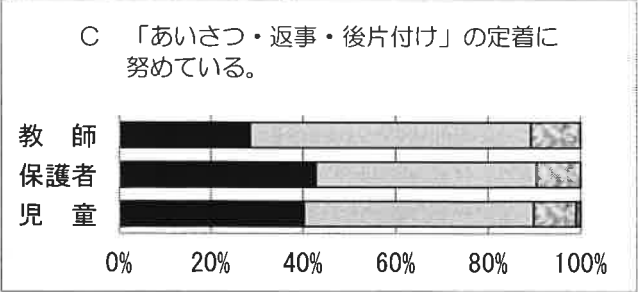
《回答》 ■ よくできている □ だいたいできている ▨ あまりできていない ▩ ほとんどできていない □ わからない

しっかり学ぶ



- ・設問Aについては、教師、保護者、児童で「よくできている」「だいたいできている」を合わせて90%前後評価されている。ただ教師の「よくできている」が20%ほどである。
→<具体的な取組>個に応じた指導の工夫に努める。
- ・設問Bについては、教師、保護者、児童とも「よくできている」「だいたいできている」を合わせて80%以上となっている。ただ「よくできている」では、三者に開きがある。
→<具体的な取組>家庭学習や自学の取組等の工夫改善に努める。

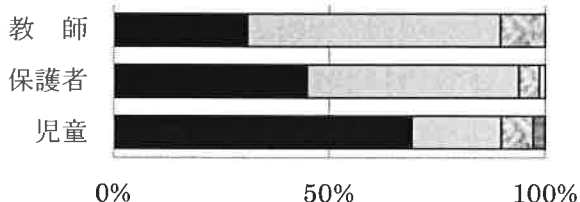
みんな笑顔



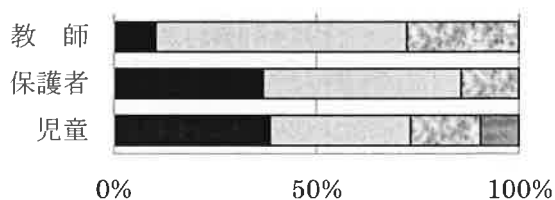
- ・設問Cについては、教師、保護者、児童ともに、「できている」「だいたいできている」の割合が90%と高くなっている。しかし、最近はしっかりとあいさつできていないという声が多く聞かれる。
→<具体的な取組>「あいさつ・返事・後片付け」の重要性を繰り返し指導し、意識を高め、日常化を図っていく。
- ・設問Dについては、保護者から「心をはぐくむ教育」に高い評価をいただいている。
→<具体的な取組>正しい言動がとれるよう日常的な指導を重視するとともに、「心の教育」充実を図るため、道徳教育や特別活動について、全教職員で研鑽を重ね、指導力の向上に努める。

すこやかな体

E 歩いて登下校することを推奨するなど子どもの体力づくりに努めている。



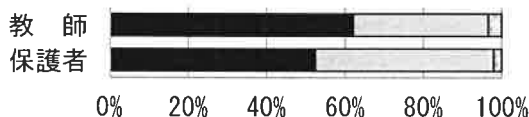
F 早寝・早起き・朝ご飯等の望ましい基本的生活習慣の推進に努めている。



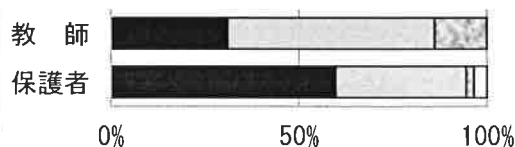
- ・設問Eについては、教師、保護者、児童ともに、「できている」「だいたいできている」の割合が90%を超えている。ただ、「できている」では、三者に開きがある。
→<具体的な取組>子どもの体力向上を図るため、学校では運動プログラムを取り入れた授業の工夫に努める。家庭には徒歩での登下校や手伝いなどに取り組むよう啓発する。
- ・設問Fについては、児童の自己評価で、4人に1人の割合で基本的生活習慣に課題があるという実態にある。昨年度より更に割合が高くなっている。
→<具体的な取組>生活リズムが整うよう。保護者への理解と協力を求める。

豊かな学びの環境づくり

G 各種便りや懇談会等を通して、学校の方針や教育活動を家庭や地域に分かりやすく発信している。



H 幼保中高との連携を通して、滑らかな学びの接続に取り組んでいる。



- ・設問Gについては、保護者から「よくできている」「だいたいできている」を合わせると98%の評価をいただいている。
→<具体的な取組>積極的に情報を発信し。理解と協力をいただくよう努めていく。
- ・設問Hについても、保護者から「よくできている」「だいたいできている」を合わせると95%の評価をいただいている。今年度からは、中学校との計画的組織的な取組を確立するための連携を図っている。
→<具体的な取組>学校間での交流と情報共有を大事にして、連携を進めていく。

今回の学校評価の結果は、高い評価の項目と、低い評価の項目が、昨年度の結果とほぼ同じでした。特に低い評価項目は、○家庭での学習や読書、○基本的生活習慣の定着についてでした。

学校では、ご家庭との連携を図りながら、今後の具体的な取組を通して子どもたちの健やかな成長を図っていくよう努めていきます。

※ 紙面の都合上、ご意見等はキーワード（キーセンテンス）にしておりますので、ご了承ください。

[しっかり学ぶ]

○ 小学校と中学校の連携

→ これまでも、体験入学や学校説明会、出前授業などで連携を図ってきています。また、年度末には6年生の引継を中学校と行っています。今後は、小中の担当者間で協議しながら、さらなる連携の強化を図っていきます。

○ 宿題及び自学

→ 宿題や自学は、学習の定着や家庭学習の習慣化を図るなど、さまざまな「ねらい」があります。子どもの発達段階や家庭の事情等に応じて、柔軟に取り組んでいただきたいと思えます。数日間ではなく、長いスパンでねらいを達成するよう考えておりますので、ご理解と今後のご協力をよろしくお願いいたします。

○ 「読書」の習慣化

→ アンケート等によりますと、ここ数年で児童の読書時間が微増しています。ただ、まだまだ家での読書は習慣化というところまでは至っておりません。学校では読書環境を整えるよう取り組んでおり、ご家庭でも親子揃って読書する時間を設けるなど、家庭内での環境を整えていただければと思います。

[みんな笑顔]

○ 児童が仲良く生活する

→ 本校では児童会が主催する全校遊びや集会活動など、全校で活動して同学年及び異学年がふれあい、交流する機会を設け、子ども同士のつながりを深めるようにしています。

○ 思いやりや感謝の心、善悪の判断などの指導

→ ご意見のとおり、このことは人として大切なことなので、学校はもちろんのこと、家庭や社会でも指導しなければならないと考えています。これからも、ご家庭と学校とが連携してお子様の心を育てる教育を進めていきたいと思えますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

[すこやかな身体]

○ ノロウィルスに対する対策

→ 学校では病気の予防対策として、日常的に「うがい、手洗い」を励行するよう指導しています。もし嘔吐等があった場合、教職員が片付けや消毒をするなど、衛生管理に努めています。

○ スキー学習

→ 昨年度ご説明しました通り、教育課程の関係等によりスケート学習に切り替えることとなりました。今後は、体育の授業ではなく、別のかたちで高学年の子どもたちにスキー体験させることを考えていきたいと思っています。

[豊かな学びの環境づくり]

○ 親子レクリエーション・親子給食会

→ これらは、基本的にPTA学年委員会が企画・実施しています。学校で保護者とお

子様が一緒に遊んだり食事をしたりすることを通して、お子様の学校での一面を見ていただける機会として行っているものと思います。実施につきましては、各学年PTAで検討して、内容を改善工夫していくことになると思います。

○ 下校時の地下道のところが不安

→ 学校としては、「清水っ子見守り隊」の皆様や警察をはじめ各関係機関のご協力をいただきながら、児童の登下校の安全確保に努めているところです。よろしければ、電話でも結構ですので、詳しいことをお知らせいただければと思います。

○ 授業参観後の全体懇談及び学年・学級懇談の順

→ 懇談の流れが「全体→学年・学級」としているのは、学校の説明責任を果たすことや学級懇談後に個人懇談をすることも考えてのことですので、ご理解とご協力をいただきたいと思います。

○ 運動会の土曜日開催

→ 日曜日が雨天の場合には月曜日に実施となり、お仕事をお休みにできない方も多くいらっしゃるものと思われます。従いまして、土曜日が雨天順延の場合でも、日曜日に実施することでご参観いただけると考えています。

○ アンケートにおける保護者名

→ 「保護者アンケート」で貴重なご意見をいただき、いつも感謝しているところです。ときには、その保護者の方と直接お話をし、具体的に伺ったりご説明させていただいたりすることが必要な場合がございます。そのため、保護者の方にはお名前を書いていただいておりますので、ご了承ください。

○ 単年度ごとの学級担任

→ ここ数年、教職員の大幅な異動により、職員構成が大きく変化しています。そのため、学校体制や教職員の経験等、様々なことを考慮し、学級担任を決めています。そのため、学年によって毎年、学級担任が替わることになりました。基本的には、担任・担当は、一年一年と考えています。なお、清水小学校として基本的なことは一貫した指導を行っておりますので、ご理解いただければと思います。

○ 授業参観での合同授業

→ ご意見の通り、来年度以降は、お子様の様々な様子をご覧いただけるよう、教科や形態について十分配慮していきたいと思っております。ご意見ありがとうございました。

○ 冬季通学路の除雪

→ 一年を通して交通指導員さんによる登下校の安全指導を行っております。冬期間の通学路につきましては、町委託の業者の方々が、安全に登下校できるよう除雪をしてくださっています。ただ、強い風のため、吹き溜まりになってしまうことがあります。その際は、学校が教育委員会を通して除雪をお願いして、安全確保に努めています。もし除雪等で不十分なところがありましたら、学校を通して除雪等の対応をしていただきます。

アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。
ご意見等につきましては、学校でしっかりと検討し、次年度に生かしていきます。今後も、保護者の皆様のご理解とご協力、よろしくお願い申し上げます。

全国学力・学習状況調査の結果と改善の取組について

深冷の候、皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃から、本校の教育活動の推進に対しまして、特段のご理解とご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、本年4月21日（火）に実施いたしました全国学力・学習状況調査（第6学年対象）の本校の結果を分析し、今後の改善の取組についてまとめましたのでお知らせいたします。

I 全体的な傾向

- ◇本校の平均正答率は、国語・算数・理科で、全国の平均正答率を上回っている。
- ◇国語A（主として知識）、国語B（主として活用）とも、全国の平均正答率を上回っている。
- ◇算数A（主として知識）、算数B（主として活用）とも、全国の平均正答率を上回っている。
- ◇理科の知識・活用とも、全国の平均正答率を上回っている。
- ◇児童質問紙では、将来の夢や目標をもっている児童、人の役に立つ人間になりたいという児童が非常に多い。全国平均と比べ、平日にゲームを1時間以上している児童が多い。

国語

【国語A（主として知識）】

- 「話す・聞く」「書く」「読む」能力、「言語事項に関する知識」のいずれの領域においても、全国正答率を大きく上回りました。
- 特に、登場人物の相互関係を捉えたり、新聞のコラムを読んで表現の工夫を捉えたりする設問では、全国正答率を大きく上回りました。

【国語B（主として活用）】

- 活用に関する「話す・聞く」「書く」能力のいずれも、全国正答率を大きく上回りました。
- 特に、目的や意図に応じて「記事に見出しを付ける」「取材した内容を整理しながら記事を書く」という設問では、全国正答率を上回りました。

算数

【算数A（主として知識）】

- 「数と計算」「量と測定」「図形」数量関係」のいずれの領域においても、全国正答率を大きく上回りました。
- 特に、基本的な四則計算においては、どの問題も90%以上の児童が正解しており、全国正答率を大きく上回りました。

【算数B（主として活用）】

- 全国正答率を10ポイント以上も上回っています。特に「数と計算」「数量関係」は20ポイント以上高く、応用力がしっかりと身に付いています。
- ▲図形において「理由を記述する問題」では、正答率が低い傾向にありました。

理科

- 「知識」「活用」に関する設問で、いずれも全国正答率を大きく上回りました。
- メダカの雄雌を見分ける方法の理解、顕微鏡の適切な操作方法の理解、実験で条件を考えながら構想したり、グラフを基に考察・分析・記述では、全国正答率を大きく上回りました。

Ⅲ 児童質問紙調査の結果

- 「早寝早起き朝ごはん」「あいさつをする」「きまりや約束を守る」等の基本的な生活習慣や規範意識が身に付いている児童は、全国平均とほぼ同じ割合である。
- 「人の気持ちがわかる人間になりたいか」「人の役に立つ人間になりたいか」という設問に対して、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の合計が100%近くあり、全国平均より高くなっている。
- 学習面では、家で「自分で計画を立てて勉強している」「授業の予習をしている」「授業の復習をしている」児童の割合が、いずれも全国平均より非常に高い。
- 「学校に行くのは楽しいと思う」という児童の割合が、全国平均より10ポイント以上高い。
- ▲全国平均と比べ、平日のテレビ視聴時間は短く、読書時間も長い傾向にある。しかし、ゲームを1時間以上している児童の割合は、全国平均より高い。

Ⅳ 今後の取組

☆基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着

- ・朝学習や授業に、漢字の読み書きや四則計算など、チャレンジテスト等も活用しながら反復学習を継続的に取り入れ、基礎・基本の一層の定着に努める。
- ・算数科においては、少人数指導や習熟度別指導、TT（チーム・ティーチング）による指導を効果的に行い、個に応じたきめ細かな指導を一層充実させる。（特に数量関係）
- ・昼休みや放課後を利用し、補充的な学習サポートを継続する。また、長期休業中の学習サポートを充実させる。

☆言語活動を充実し、思考力・判断力・表現力等を高める授業

- ◎以下の学習活動を通して、思考力・判断力を高めていく。
- ・各教科において、子どもの知的好奇心・意欲を喚起するような課題設定を工夫する。また、子どもの主体的な学びに繋げるため、問題解決的な学習を積極的に位置づける。子ども同士が自分の考えを伝え合う場を授業に積極的に取り入れることを継続し、伝えたいことを整理し、根拠をはっきりさせながら話すことを繰り返し指導する。
- ・国語では、感想文、記録文、報告文など、書く機会を意図的に増やし、理由を明確にしてまとめて書いたり、説明を書いたりする力を高める。
- ・算数では、問題解決的な学習を積極的に位置付ける。書く活動を基盤として、自分の力で筋道を立てて考えたり、多様な方法で解決したりする力を身に付けさせる。また、絵や図などを用いて、自分の考えを分かりやすく説明したり、文章に表現したりする力を高める。

☆家庭学習の内容の充実、読書習慣の定着

- ・好ましい生活のリズムを継続し、けじめのあるテレビ視聴を習慣付け、一日の中に学年に応じた家庭学習の定着を目指す。
- ・家庭学習の進め方についてアドバイスし、家庭学習の手引き(清水町教育研究所発行)を活用し、予習や復習、テストのやり直しなど、家庭学習の内容を充実させる。
- ・朝読書や読み聞かせ会、児童会図書委員会活動、学校図書館や移動図書館の利用等を充実させて、子どもが本と出会う機会を増やし、家庭とともに読書習慣の定着を目指す。

清水町議会総務文教常任委員会・清水町教育委員会の皆様の給食教室

- 1 図書館から、給食トレイをお持ちになり、下記の教室に行ってください。担任から座席の指定がありますので、そちらで給食を召し上がってください。
 - 2 食べ終わった食器やトレイなどは、学級のカゴお入れください。
 - 3 何かご不明のことなどがございましたら、学級担任にお尋ねください。
- ☆ それでは、おいしい給食で、児童たちと楽しいひと時をお過ごしください。

| | | | | |
|----------|-----------|---------|---------|------|
| 清水町議会 | 議長 | 加来 良明 様 | 6年1組 | |
| 清水町議会 | 総務文教常任委員会 | 委員長 | 高橋 政悦 様 | 5年1組 |
| | | 副委員長 | 鈴木 孝寿 様 | 5年2組 |
| | | 委員 | 北村 光明 様 | 6年1組 |
| | | 委員 | 木村 好孝 様 | 6年2組 |
| | | 委員 | 口田 邦男 様 | 5年1組 |
| | | 委員 | 中島 里司 様 | 5年2組 |
| | | 議会事務局長 | 佐藤 秀美 様 | 6年1組 |
| | | 〃 総務係長 | 渋谷 直親 様 | 6年2組 |
| 清水町教育委員会 | 教育長 | 伊藤 登 様 | 6年2組 | |
| | 学校教育課長 | 上出 進 様 | 5年1組 | |
| | 課長補佐 | 斉木 良博 様 | 5年2組 | |

教師としての心得12

- ① 教師は**子どもの百倍学ぶべし**。
- ② 常に、**授業は真剣勝負**。一時間一時間で勝負すべし。
- ③ 考えて、考えて、**考え抜く力を身につけさせるべし**。(確かな**自己解決力**をつけるべし。)
- ④ **目で聴き、心で考える力と温かな雰囲気**のある学級をつくるべし。
- ⑤ **互いに認め合い、支え合う学習・生活集団**をつくるべし。
- ⑥ 子どもへの**愛情と情熱、待つ姿勢**をもって接すべし。
- ⑦ 教師は「**率先垂範**」の姿勢で対応すべし。
- ⑧ 「**師弟同汗**」の姿勢で、「**共感、共汗、共働、共育**」を実践すべし。
- ⑨ 「**人の痛みが分かる子ども**」に育てるべし。「**自分がいやなことは人にはしないこと**」を徹底すべし。
- ⑩ 「**24時間、教師であること**」を肝に銘ずるべし。
- ⑪ **凡事徹底**すべし。
- ⑫ 「**不易と流行**」を実行すべし。



しらかし教育の四季

「笑顔輝く 日本一の学校」

笑顔で登校 笑顔で下校

しっかり
学ぶ

みんなで
笑顔

すこやかな
からだ

世界一のあいさつをしよう！

まなぶ人
やればできるよ
なにごとにも

(北海道学習指導要領)



北海道教育委員会